

科目名		設備設計実習 II			
担当教員		多田 剛史		実務授業の有無	無
対象学科		建築設備システム科	対象学年	2年	開講時期 後期
必修・選択		必修	授業形態	実習	時間数 48時間
授業概要、目的、授業の進め方		電気、水、空調の設備設計をCADを使い学ぶ 1. 設備専用の3D-CAD (Rebro) 操作を学ぶ。 建築設備の総合的まとめをおこなう。 1. 30年後の建築設備と社会を自由に考える。			
学習目標 (到達目標)		必要な建築設備の基礎知識を、具体的に学習します。 3D-CAD (Rebro) の操作を体験し、最新3D設計を学ぶ。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		補助プリントにて必要な文献・資料・課題を配付する。 レブロセミナー動画（設計施工編・電気編・配管加工編）			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	3D-CAD (Rebro) の操作体験 レブロセミナー動画を使用し、操作の概要を理解する。			方法：レブロセミナー動画（設計施工編・電気編・配管加工編）を見ながら、実際にCAD操作をする。	
2	3D-CAD (Rebro) で3D図面化する。			方法：Rebroを使用し、2D図面を3D図面化をやってみる。	
3	建築設備の総合的まとめ 30年後の建築設備と社会をテーマにまとめる。			方法：これまでの知識を使って自由に発想し、プレゼン資料にする。	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
課題提出	取組姿勢			後半に今まで学んだ事を生かして建築設備の未来についてまとめてもらいます。大いに自由に発想してまとめてください。	
80 %	20 %	%	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴					